

様式第 1（第 3 条関係）

※受理年月日	
※受理番号	
※備考	

大 規 模 小 売 店 舗 届 出 書

令和 8 年 1 月 9 日

小山市長 殿

氏名又は名称及び法人にあつてはその代表者の氏名  
大和ハウス工業株式会社  
代表取締役 大友 浩嗣  
住所  
大阪府大阪市北区梅田三丁目 3 番 5 号

大規模小売店舗立地法第 5 条第 1 項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1. 大規模小売店舗の名称及び所在地  
名 称：(仮称)小山栗宮複合計画  
所在地：栗宮新都心第一土地区画整理事業街区番号33
2. 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては代表者の氏名  
未定 4 者
3. 大規模小売店舗の新設をする日  
令和 8 年 9 月 10 日
4. 大規模小売店舗内の店舗面積の合計  
4,215 m<sup>2</sup>

5. 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

駐車場No.	位置	収容台数(台)
駐車場	P. 20 図面 4 全体配置図	144
合計		144

※別途、従業員等共用駐車場 173 台を確保いたします。

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

駐輪場No.	位置	収容台数(台)
駐輪場①	P. 20 図面 4 全体配置図	36
駐輪場②		36
駐輪場③		36
駐輪場④		18
合計		126

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

荷さばき施設No.	位置	面積 (㎡)
荷さばき施設①	P. 21 図面 5-1 内部配置図 (A 棟)	35.0
荷さばき施設②	P. 22 図面 5-2 内部配置図 (B 棟)	46.0
荷さばき施設③	P. 23 図面 5-3 内部配置図 (C 棟)	75.0
合計		156.0

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

廃棄物保管施設No.	位置	容量(㎡)
廃棄物保管施設①	P. 21 図面 5-1 内部配置図 (A 棟)	3.61
廃棄物保管施設②	P. 22 図面 5-2 内部配置図 (B 棟)	4.15
廃棄物保管施設③	P. 23 図面 5-3 内部配置図 (C 棟)	7.69
廃棄物保管施設④	P. 24 図面 5-4 内部配置図 (D 棟)	4.55
合計		20

6. 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

小売業者	開店時刻	閉店時刻
未定 (A 棟)	午前 9 時 00 分	午後 9 時 00 分
未定 (B 棟)	午前 9 時 00 分	翌午前 0 時 00 分
未定 (C 棟)	24 時間	
未定 (D 棟)	午前 10 時 00 分	午後 7 時 00 分

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

利用することができる時間帯
24 時間

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

出入口の数	位置
6 箇所	P. 20 図面 4 全体配置図

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

24 時間

## 添付書類（目次）

□：図面以外の文書等（主として表形式）  
◇：図面

### I 店舗の概要に関する書類

#### (1) 届出概要等

①□届出概要	P. 4
②□大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項	P. 6
③◇店舗位置図	P. 17
④◇都市計画図	P. 18
⑤◇周辺見取図	P. 19
⑥◇全体配置図	P. 20
⑦◇内部配置図	P. 21～24
⑧◇立面図	P. 25～28
(2) ◇求積図及び求積表	P. 29～32
(3) □面積表	P. 16
(4) ◇荷さばき施設の位置及び求積図並びに求積表	P. 20
(5) ◇廃棄物保管施設の位置及び求積図並びに求積表	P. 21～24
(6) ◇周辺位置図及び周辺の写真	P. 33

### II 交通関係（添付書類）

(1) ◇駐車場の位置	P. 20
(2) ◇店舗までの案内経路図	添 P. 31
(3) ◇店舗敷地内及び駐車場出入口周辺通行経路図	P. 20
(4) □方向別来台数算出根拠	添 P. 1
(5) ◇方向別来台数予測図	添 P. 30
(6) □現状交通量調査結果	添 P. 24～29
(7) □現状と開店後における交通量等の比較	添 P. 10～13
(8) ◇駐輪場位置図	P. 20

### III 騒音関係（添付資料）

(1) ◇騒音予測・対策に関する図面	添 P. 26
(2) □荷さばき施設等における商品搬出入車の来台数及び荷さばきを行う時間帯	P. 8
(3) □騒音予測結果表	P. 11
(4) □騒音予測調査資料	添 P. 9～20

### IV 関係各課等との協議結果

### V 登記簿謄本

届 出 概 要 (新設)

1 届出者等

届出者	名称・代表者	大和ハウス工業株式会社 代表取締役 大友 浩嗣
	住所	大阪府大阪市北区梅田三丁目3番5号
届出区分		新設（法第5条第1項）
届出日		令和8年1月9日
新設日		令和8年9月10日
店舗名称		(仮称)小山栗宮複合計画
店舗所在地		栗宮新都心第一土地区画整理事業街区番号33
小売業者の氏名又は名称及び住所		未定 4 者

2 届出事項の概要

届 出 事 項		届 出 の 内 容
店舗面積合計		4,215m <sup>2</sup>
施設配置	駐車台数	144台(別途従業員等共用駐車場173台)
	駐輪台数	126台
	荷さばき施設面積	156m <sup>2</sup>
	廃棄物保管場所容量	20m <sup>3</sup>
運営方法	開店時刻	24時間
	閉店時刻	
	来客駐車場利用時間帯	24時間
	駐車場出入口	5箇所
	荷さばき可能時間帯	24時間

### 3 出店地・建物の概要

届 出 事 項		内 容
出店地の状況	用途地域	準工業地域
	敷地面積	26,182㎡
	所有形態	借地
建物の状況 A棟	店舗業態	日用品等
	延べ床面積	836.0㎡
	併設施設の面積	-
	併設施設面積の店舗面積に対する割合	-
建物の状況 B棟	店舗業態	ドラッグストア
	延べ床面積	1,093.92㎡
	併設施設の面積	-
	併設施設面積の店舗面積に対する割合	-
建物の状況 C棟	店舗業態	スーパー
	延べ床面積	2,356.00㎡
	併設施設の面積	-
	併設施設面積の店舗面積に対する割合	-
建物の状況 D棟	店舗業態	リユース品
	延べ床面積	1,057.50㎡
	併設施設の面積	-
	併設施設面積の店舗面積に対する割合	-
建物の状況 E棟	店舗業態	飲食店
	延べ床面積	348.1㎡
	併設施設の面積	348.1㎡
	併設施設面積の店舗面積に対する割合	8.3%
建物の状況 A～E 棟合計	店舗業態	総合スーパー
	延べ床面積	5,691.52 ㎡
	併設施設の面積	348.1 ㎡
	併設施設面積の店舗面積に対する割合	8.3%

### 大規模小売店舗において小売業を行う者の一覧

No.	小売業者名及び代表者名	住所	主な販売品目	開店時刻	閉店時刻	面積	備考
1	未定（A棟）	-	日用品	午前9時00分	午後9時00分	754㎡	
2	未定（B棟）	-	医療品等	午前9時00分	翌午前0時00分	885㎡	
3	未定（C棟）	-	食料品等	24時間		1,648㎡	
4	未定（D棟）	-	リユース品等	午前10時00分	午後7時00分	928㎡	
合計						4,215㎡	

## 指針に定める大規模小売店舗の施設の配置及び運営方法に関する配慮事項への対応状況

### 1 駐車場の充足等交通に係る事項

#### (1) 駐車場の必要台数の確保

届出駐車台数 144 台（別途、敷地内従業員共用駐車場 173 台）

指針による必要駐車台数 144 台

#### ◇ 指針による算出根拠

店舗面積	4,215 千㎡
店舗業態	総合スーパー
人 口	165,955 人
用途地域	その他地区
駅からの距離	3,000m

#### 計算式

項 目	届出台数	指針値	算出根拠
必要駐車台数	144 台	144 台	$A \times \alpha \times S \times B \times C \div D \times E$
S:店舗面積(千㎡)		4.215	$4,215 \text{ 千㎡} \div 1,000$
A:日來客原単位(人/千㎡)		973.55	人口 40 万人未満の場合 $1,100 - 30 \times S$
$\alpha$ :補正係数		0.8	
B:ピーク率(%)		14.40%	指針の基準値
C:自動車分担率(%)		90%	人口10万人～40万人且つその他地区の場合 駅からの距離に関わらず 90
D:平均乗車人員(人/台)		1.5 人/台	店舗面積20,000㎡未満の場合 1.5(固定値)
E:平均駐車時間係数		0.5065	店舗面積20,000㎡未満の場合 $(30 + 5.5 \times S) / 105$

#### (2) 駐車場の位置及び構造等

項 目	対 応 策
効率的な駐車場形式の選択 及び出入口の数、位置	・スムーズな入庫ができるよう平面駐車場といたします。 ・店舗の影響により周辺交通に影響が生じた場合には、関係機関と協議の上、適切な対策を検討いたします。
駐車待ちスペースの確保	・駐車場内の車路部分全般が駐車待ちスペースの役割を果たしており、入庫待ちによる公道の渋滞が発生しないように運用してまいります。
駐車場の分散確保	・駐車場の分散計画はございません。
駐車場出入口における交通 整理	・オープン期、繁忙日等混雑が予想されるときには、駐車場各出入口に交通整理員の配置を検討いたします。

#### (3) 駐輪場の確保等

届出台数 126 台

(位置は図面 4 全体配置図のとおり。)

#### (4) 自動二輪車の駐車場の確保

設置はございませんが、利用があった場合には駐車場に案内いたします。

## (5) 荷さばき施設の整備等

項 目	対 応 策
荷さばき車両駐車スペース、 荷さばき作業場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な荷さばきスペースを確保します。</li> <li>・処理能力は表 1 のとおりとします。</li> </ul>
搬出入車両出入口の位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬入車専用出入口より入出庫します。</li> </ul>
計画的な搬出入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な搬入計画により、荷さばき待ち車両が路上駐車せず周辺交通を阻害しないよう努めます。</li> <li>・搬出入計画は表 2 のとおりとします。</li> <li>・廃棄物等の収集についても、荷さばき作業同様に計画的に行います。収集計画は表 2 のとおりとします。</li> </ul>

【表 1】

位置	荷さばき 時間帯	搬出入車両台数／日 ＜ピーク時＞	駐車 スペース	荷さばき 処理時間	処理能力
荷さばき施設①	午前 6 時～ 午後 10 時	1 台／日 ＜1 台／8 時台＞	4t:1 台	4t : 20 分／台	4t : 3 台／時
荷さばき施設②	午前 6 時～ 午後 10 時	4 台／日 ＜2 台／6 時台＞	4t:1 台	4t : 20 分／台	4t:3 台／時
荷さばき施設③	24 時間	5 台／日 ＜2 台／13 時台＞	4t:1 台 10t:1 台	4t : 20 分／台 10t : 30 分／台	4t : 3 台／時 10t:2 台／時

【表 2】時間帯別車種別荷さばき計画

## 荷さばき施設① (A 棟)

時間帯	4 t	計	廃棄物等	時間帯	4 t	計	廃棄物等
6 : 00 ~ 7 : 00				14 : 00 ~ 15 : 00			
7 : 00 ~ 8 : 00				15 : 00 ~ 16 : 00			
8 : 00 ~ 9 : 00	1	1	2	16 : 00 ~ 17 : 00			
9 : 00 ~ 10 : 00				17 : 00 ~ 18 : 00			
10 : 00 ~ 11 : 00				18 : 00 ~ 19 : 00			
11 : 00 ~ 12 : 00				19 : 00 ~ 20 : 00			
12 : 00 ~ 13 : 00				20 : 00 ~ 21 : 00			
13 : 00 ~ 14 : 00				21 : 00 ~ 22 : 00			
合計					1	1	2

## 荷さばき施設② (B 棟)

時間帯	4 t	計	廃棄物等	時間帯	4 t	計	廃棄物等
6 : 00 ~ 7 : 00	2	2		14 : 00 ~ 15 : 00			
7 : 00 ~ 8 : 00	1	1		15 : 00 ~ 16 : 00			
8 : 00 ~ 9 : 00	1	1		16 : 00 ~ 17 : 00			1
9 : 00 ~ 10 : 00				17 : 00 ~ 18 : 00			1
10 : 00 ~ 11 : 00				18 : 00 ~ 19 : 00			
11 : 00 ~ 12 : 00				19 : 00 ~ 20 : 00			1
12 : 00 ~ 13 : 00				20 : 00 ~ 21 : 00			
13 : 00 ~ 14 : 00				21 : 00 ~ 22 : 00			
合計					4	4	3

## 荷さばき施設③ (C 棟)

時間帯	4 t	10t	計	廃棄物等	時間帯	4 t	10t	計	廃棄物等
0:00~1:00					12:00~13:00				
1:00~2:00					13:00~14:00				
2:00~3:00					14:00~15:00				
3:00~4:00					15:00~16:00				
4:00~5:00	1		1		16:00~17:00				
5:00~6:00		1	1		17:00~18:00	1		1	
6:00~7:00	1		1	1	18:00~19:00				
7:00~8:00					19:00~20:00				
8:00~9:00	1		1		20:00~21:00				
9:00~10:00					21:00~22:00				
10:00~11:00					22:00~23:00				
11:00~12:00				1	23:00~24:00				
合計						4	1	5	2



## (6) 経路の設定等

事 項		対 策
来退店経路の設定、交通整理員の配置		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に幹線道路を自動車経路選定し生活道路を避けた計画とします。</li> <li>・オープン時等繁忙期には駐車場出入口に交通整理員の配置を検討します。</li> </ul>
生活道路等への配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な国道及び県道より来店・退店する経路をドライバーに周知します。</li> </ul>
入出庫対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出入口付近に案内看板を設置し、路面に誘導を表示します。</li> </ul>
その他	搬出入車両の経路設定等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な国道及び県道より来店・退店する経路を誘導します。</li> </ul>
	バス、タクシー駐車場の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内にバスの駐車場を設置する予定はありません。</li> </ul>
	交通事故防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープン期、繁忙日等混雑が予想されるときには駐車場各出入口に交通整理員の配置を検討します。</li> <li>・駐車場出入口に停止線の路面標示を設置します。</li> </ul>

## (7) 主要交差点の交差点飽和度

## ① 予測結果（信号交差点）

## a. 休日

交差点番号	ピーク時間帯	交差点需要率		
		開発前 a	開発後 b	差引 b-a
交差点 A	11 時台	0.370	0.466	0.096
交差点 B	11 時台	0.327	0.379	0.052

## b. 平日

交差点番号	ピーク時間帯	交差点需要率		
		開発前 a	開発後 b	差引 b-a
交差点 A	11 時台	0.470	0.547	0.077
交差点 B	17 時台	0.488	0.518	0.030

休平日のいずれの交差点においても、開発後の交差点飽和度が、通常渋滞が発生しないとされる 0.9 を下回っており、本開発による周辺環境への影響は少ないと推測いたします。

## 2 歩行者の通行の利便の確保等

事 項	対 応 策
店舗出入口、敷地内通路の位置	駐車場内は十分な幅員を確保し視認性の良い計画とします。
荷さばき施設の位置	歩行者動線とは離隔をとった場所に設置します。
夜間歩行者への配慮	照明設備を適切に配置します。

### 3 騒音の発生に係る事項

#### (1) 騒音問題に対応するための対応策

事 項	対 応 策
一般的対策	
騒音源の配置	・周辺環境に配慮した配置計画とします。
遮音壁の設置	・遮音壁の設置は計画しておりません。
低騒音機器の選択	・可能な限り低騒音型機器を導入いたします。
緩衝帯の設置	・緩衝帯の設置はありません。
営業活動に伴う騒音対策	
荷さばき作業	・荷さばき作業時は、アイドリングストップに努めます。 ・衝撃音の発生抑止に努め、台車に搭載した荷物は搬入車両から速やかに室内に移動します。
営業宣伝活動	・BGM は店舗内のみとし、屋外放送はいたしません。
付帯設備等	
冷却塔、室外機等	・冷却塔は設置しません。 ・室外機等は低騒音型を選定します。 ・定期点検を行い、異常騒音の発生防止に努めます。
給排気口等	・給排気口は低騒音型を選定します。
駐車場	
配置・構造	・段差のない構造とします。
運営	・営業終了後は駐車場を利用規制し、外部からの侵入者による騒音の発生を防止します。
廃棄物収集作業等	・作業員の静穏意識の向上に努めて参ります。 ・早朝、夜間の時間帯の作業は行いません。
営業時間外の敷地内侵入者防止対策	・営業終了後は駐車場を利用規制し、外部からの侵入者による騒音の発生を防止します。

## (2) 騒音の予測評価

## ① 用途地域時間区分の指定状況

用 途 地 域	昼 間	夜 間
準工業地域	6:00～22:00	22:00～6:00
市街化調整区域	6:00～22:00	22:00～6:00

## ② 騒音の総合的予測結果

(単位：dB)

種別	地域類型	環境基準 (LAeq)	予測地点のデータ			
			予測地点 (高さ)	等価騒音 レベル (LAeq)	主 音 源 (音源名称) (LAeq)	
昼 間	C 類型	60	A(1.2)	45.8	来客車両走行 029	39.2
	C 類型	60	B(1.2)	47.4	来客車両走行 001	40.2
	C 類型	60	C(1.2)	53.5	来客車両走行 008	48.5
	C 類型	60	D(1.2)	48.0	来客車両走行 028	42.0
	C 類型	60	E(1.2)	50.9	廃棄物収集作業 01	46.1
	C 類型	60	F(1.2)	47.7	来客車両走行 041	43.1
夜 間	C 類型	50	A(1.2)	41.1	来客車両走行 029	34.5
	C 類型	50	B(1.2)	42.8	来客車両走行 001	35.5
	C 類型	50	C(1.2)	48.9	来客車両走行 008	43.8
	C 類型	50	D(1.2)	43.4	来客車両走行 028	37.3
	C 類型	50	E(1.2)	42.2	空調機室外機 06	34.0
	C 類型	50	F(1.2)	43.0	来客車両走行 041	38.4

## ③ 夜間に発生する騒音ごとの予測結果

(単位：dB)

時間 区分	区域	騒音規制法 基準値	予測地点でのデータ			
			予測地点 (高さ)	騒音レベル 最大値 (LAmax)	音 源	継続時間 (台数)
夜 間	第三種区域	50	P1(1.2)	72.4	来客車両走行 029	290 台
	第三種区域	50	P2(1.2)	72.4	来客車両走行 001	290 台
	第三種区域	50	P3(1.2)	61.2	来客車両走行 008	290 台
	第三種区域	50	P4(1.2)	72.4	来客車両走行 028	290 台
	第三種区域	50	P5(2.1)	59.3	冷凍機室外機 03	22:00-06:00
	第三種区域	50	P6(1.5)	91.4	大型車両後進ブザー07	2 台
	第三種区域	50	P7(1.2)	72.4	来客車両走行 041	290 台
	第三種区域	50	P1'(1.2)	48.9	来客車両走行 029	290 台
	第三種区域	50	P2'(1.2)	49.9	来客車両走行 001	290 台
	第三種区域	50	P3'(1.2)	52.6	来客車両走行 007	290 台
	-	50	P4'(1.2)	57.8	大型車両後進ブザー07	2 台
	-	50	P5'(2.1)	61.9	大型車両後進ブザー07	2 台
	-	50	P6'(1.5)	76.1	大型車両後進ブザー07	2 台
	第三種区域	50	P7'(1.2)	55.8	来客車両走行 041	290 台

④ 評価

イ 騒音の総合的予測結果

全ての予測地点において昼間及び夜間の等価騒音レベルは環境基準値を下回ります。よって周辺住環境への影響は軽微であると予測します。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応します。

ロ 夜間に発生する騒音ごとの予測結果

全ての予測地点において、夜間騒音レベルの最大値が規制基準値を上回ります。そこで、保全対象側において予測地点を設定し、再度予測しました。

隣地敷地境界 P1',P2'における予測の結果、夜間騒音レベルの最大値は規制基準値を下回りましたが、隣地敷地境界 P3'～P7'においては、夜間騒音レベルの最大値は規制基準値を上回りました。

現状予測地点は空地及び田畑であり、住居がないため近隣への影響は軽微であると推測しますが、騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応します。

#### 4 廃棄物に係る事項等

##### (1) 廃棄物等の保管について

###### ① 保管のための施設容量の確保

廃棄物保管施設の容量 届出容量 20.00 m<sup>3</sup>  
 指針による必要容量 19.61 m<sup>3</sup>

◇指針による必要保管容量積算根拠 [S：店舗面積 千m<sup>2</sup>]

廃棄物 種 別	S：店舗面積		A：1日当たり 廃棄物排出量 指針原単位×S	B： 平均保 管日数	C： 見かけ比重 （t/m³）	保管容量 A×B/C
紙製廃棄物等 （再資源可能なものに限る）	6000 m²以下	4.215 千m²	0.877t	1.00 日	0.10	8.77 m³
	6000 m²超					
			計 0.877t			
金属製廃棄物 （アルミ製・スチール製の容器等）	6000 m²以下	4.215 千m²	0.030t	1.00 日	0.10	0.30 m³
	6000 m²超					
			計 0.030t			
ガラス製廃棄物 （ガラス製の容器）	6000 m²以下	4.215 千m²	0.025t	1.00 日	0.10	0.25 m³
	6000 m²超					
			計 0.025t			
プラスチック製廃棄物 （食料容器、食料品トレイ等）	6000 m²以下	4.215 千m²	0.084t	1.00 日	0.01	8.40 m³
	6000 m²超					
			計 0.084t			
生ごみ等 （食品廃棄物等）	6000 m²以下	4.215 千m²	0.712t	1.00 日	0.55	1.29 m³
	6000 m²超					
			計 0.712t			
その他の 可燃性廃棄物等	6000 m²以下	4.215 千m²	0.228t	1.00 日	0.38	0.60 m³
	6000 m²超					
			計 0.228t			
				合計		19.61 m³

###### ② 廃棄物等の保管場所の位置及び構造等

事 項	対 応 策
位置、構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物保管庫を設け、散乱防止に努めます。</li> <li>・分別収集を徹底します。</li> </ul>
生ごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ゴミは密閉し臭気の発生を防ぎます。</li> </ul>

(2) 廃棄物等の処理について

事 項	対 応 策
敷地外処理	・専門業者に運搬及び処理を委託して適正処理を行います。
運搬予定業者	・専門業者に運搬及び処理業者への引渡しを依頼します。
敷地内処理	・廃棄物の種類毎に分別保管を行います。
関係者への指示	・店舗関係者及び廃棄物の収集運搬業者に適正処理の指導を徹底します。

(3) 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮

事 項	対 応 策
廃棄物の減量化、 リサイクル活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底によるごみの減量化に努め、廃棄物発生抑制に努めます。</li> <li>・ダンボール・ビニール等のリサイクルを実施します。</li> </ul>

5 街並みづくり等への配慮

災害時の協力	・地方公共団体からの要請があった場合、可能な限り協力いたします。
夜間の防犯、青少年の 非行防止対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 駐車場における対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業終了後は駐車場を利用しないように周知します。</li> </ul> </li> <li>2 店舗内部における対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラ等の防犯機器の設置、従業員による店内の巡回を行います。</li> </ul> </li> <li>3 防犯体制全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバイトを含めた全従業員に対し、防犯を意識した指導を徹底し防犯意識の向上を図ります。</li> </ul> </li> <li>4 青少年の健全育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県青少年健全育成条例に対し、深夜徘徊等無いよう営業終了後は、利用規制します。</li> <li>・有害図書の販売は行いません。</li> <li>・酒類、たばこ類を販売する場合は、年齢確認等の必要な措置を行い、20歳未満の者に販売しません。</li> </ul> </li> </ol>
街並みづくり等への配慮	
景観条例等	・栃木県屋外広告物条例、小山市景観条例
建物の色	・周囲の街並みと調和がとれた色とします。
建物の高さ	・規定の範囲内とします。
看板	・条例に適合した大きさとします。
その他	・広告物等についても、周囲の街並みと調和がとれた外観とします。
敷地内の緑化計画	・敷地境界に可能な範囲で緑地を設置し、緑化と管理に努めます。
照明に関する配慮	
方向	・照明光が周辺の住居内に射し込まない角度とします。
強さ	・強度の照明は使用せず、安全確保に必要な程度の明るさとします。
時間	・駐車場閉鎖後は消灯を行います。（防犯上必要なものは除く）

## 6 地域貢献への対応

項目	対応策
地域経済団体等の活動への積極的な協力	地域からの優先的な雇用を促進します。 地域イベント等の参加や協力等、要望があれば検討します。
地域の防災・防犯への対応	地域防災及び地域防犯活動へ協力を行います。
退店時における早期の情報提供	退店時は各テナントより情報を周知します。
その他	周辺住民等から苦情、問い合わせがあった場合は誠意をもって対応します。

## 7 その他特記事項

店舗に関する運営方法について周辺住民等から苦情、問い合わせ等あった場合は、誠意を持って対応いたします。

## 面積表

単位：㎡

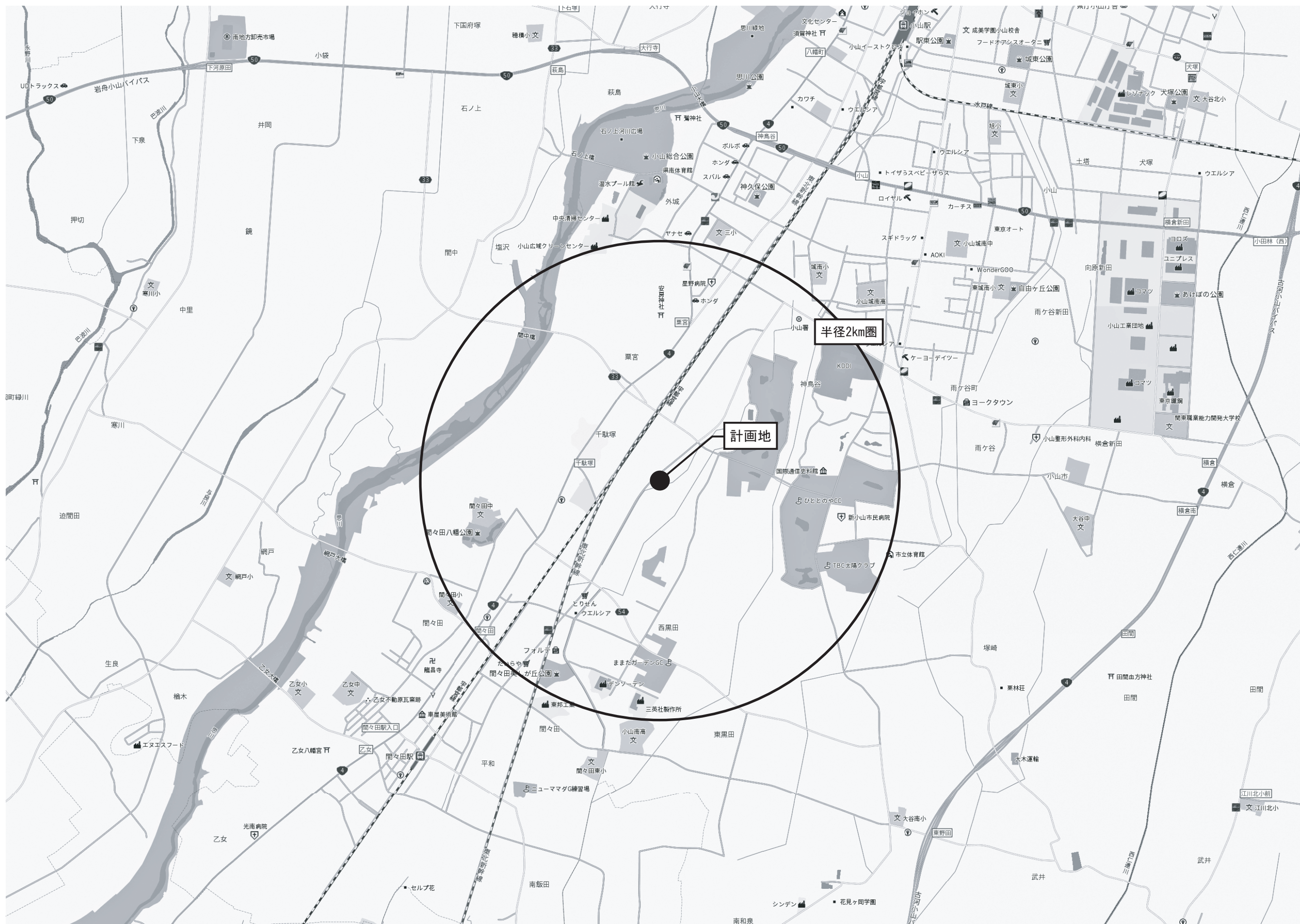
項目		A 棟	B 棟	C 棟	備考	
店舗面積	小売面積		753.98	884.92	1,648.36	
	小計		753.98	884.92	1,648.36	
	a 延床面積不算入面積		—	—	—	
	A 店舗面積の合計		753.98	884.92	1,648.36	
事業用	利用者 同一	サービス施設	—	—	—	
		小計	—	—	—	
	利用者 別	—	—	—	—	
		小計	—	—	—	
	B 事業用合計		—	—	—	
C 施設		82.02	209.00	707.64		
延床面積（A - a+B+C）		836.00	1,093.92	2,356.00		

項目		D 棟	E 棟	合計	備考	
店舗面積	小売面積		927. 50	－	4, 214. 76	
	小計		927. 50	－	4, 214. 76	
	a 延床面積不算入面積		－	－	－	
	A 店舗面積の合計		927. 50	－	4, 214. 76	
事業用	利用者 同一	サービス施設	－	348. 10	348. 10	
		小計	－	348. 10	348. 10	
	利用者 別	－	－	－	－	
		小計	－	－	－	
	B 事業用合計		－	－	－	
C 施設		130. 00	－	1, 128. 66		
延床面積（A - a+B+C）		1, 057. 50	348. 10	5, 691. 52		

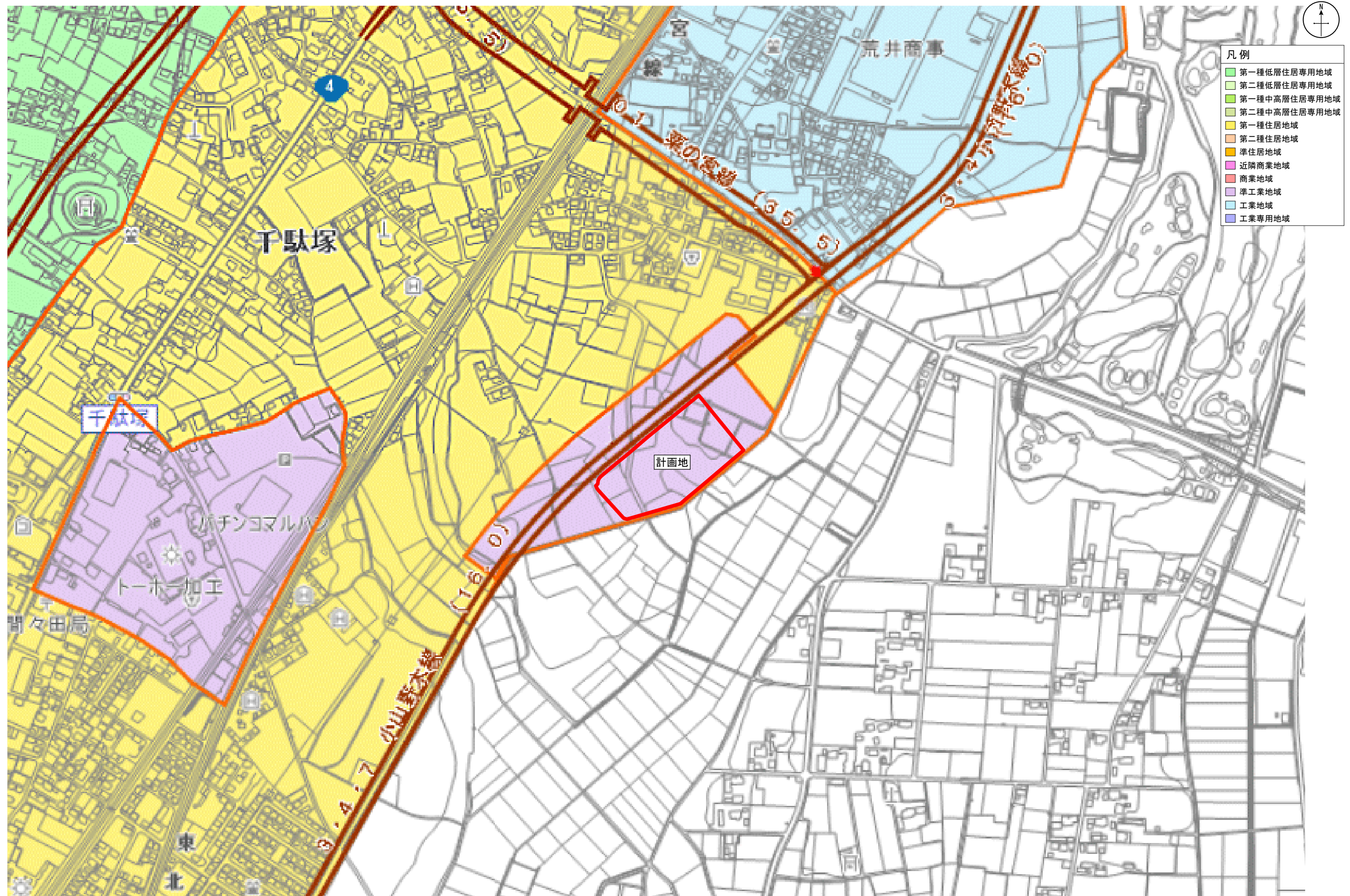


図面 1 店舗位置図

SCALE=1:30,000







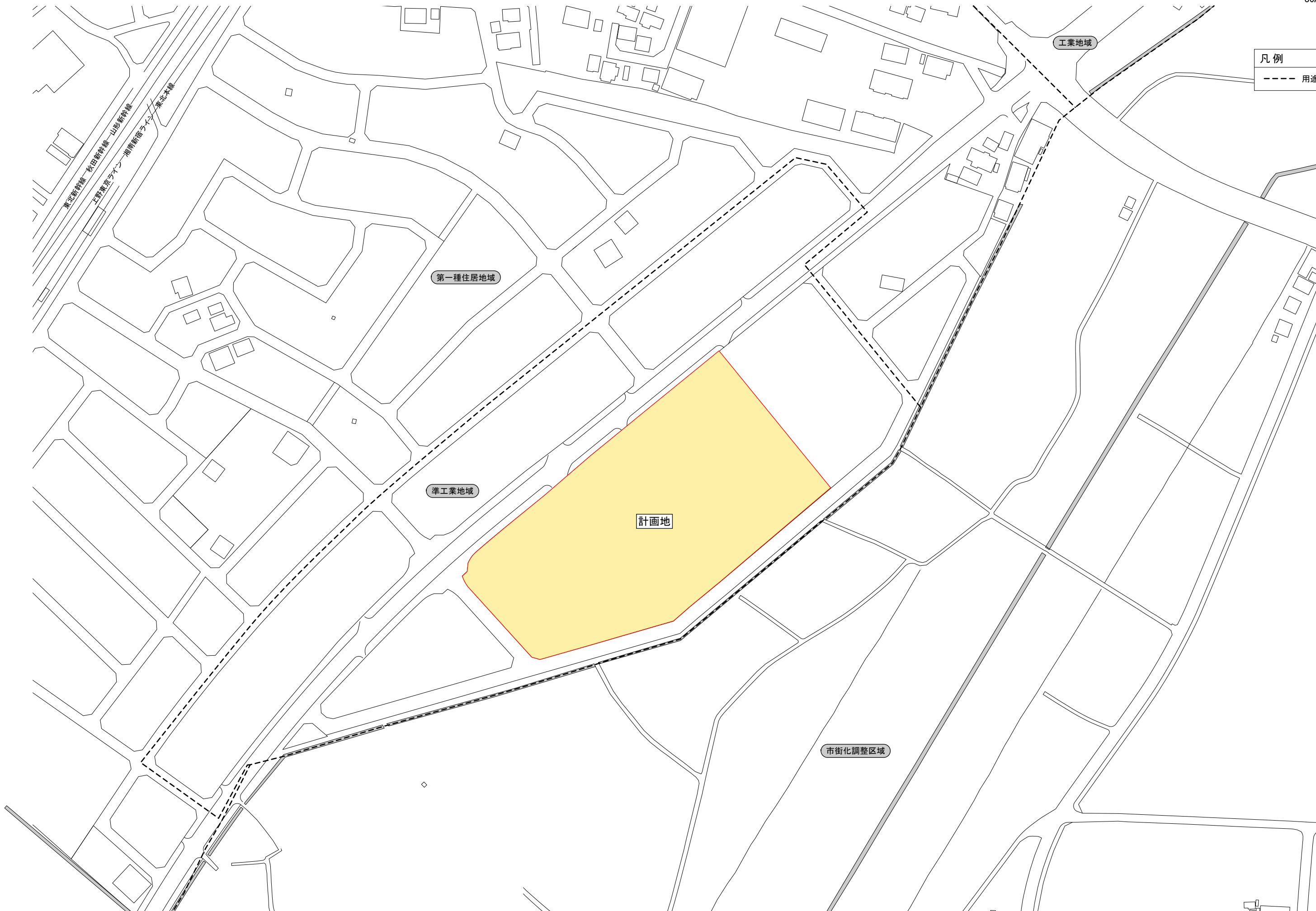
図面 3 周辺見取図

SCALE=1:2,000



凡 例

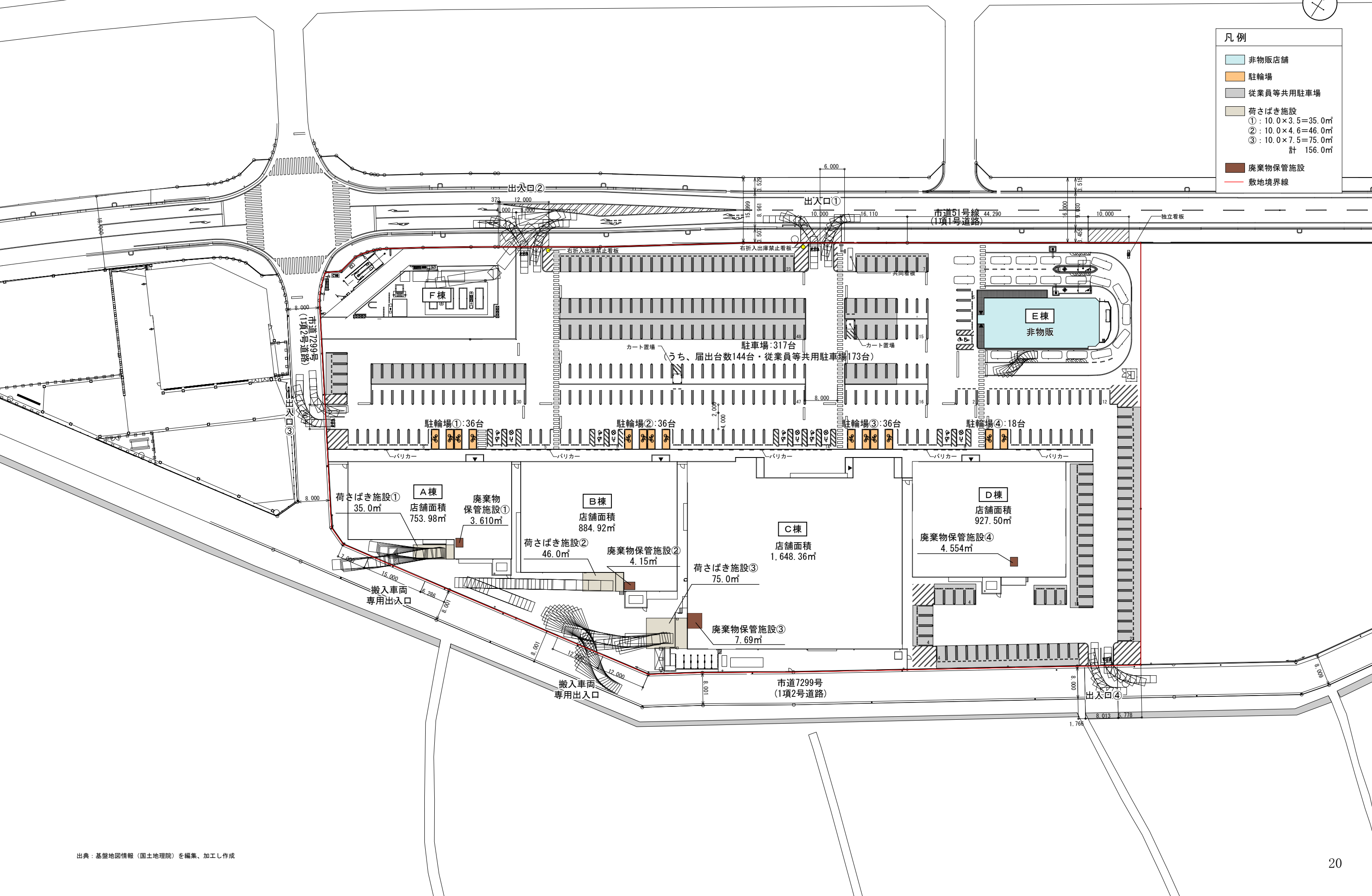
----- 用途地域境界





凡 例

- 非物販店舗
- 駐輪場
- 従業員等共用駐車場
- 荷さばき施設
  - ① : 10.0×3.5=35.0㎡
  - ② : 10.0×4.6=46.0㎡
  - ③ : 10.0×7.5=75.0㎡
  - 計 156.0㎡
- 廃棄物保管施設
- 敷地境界線



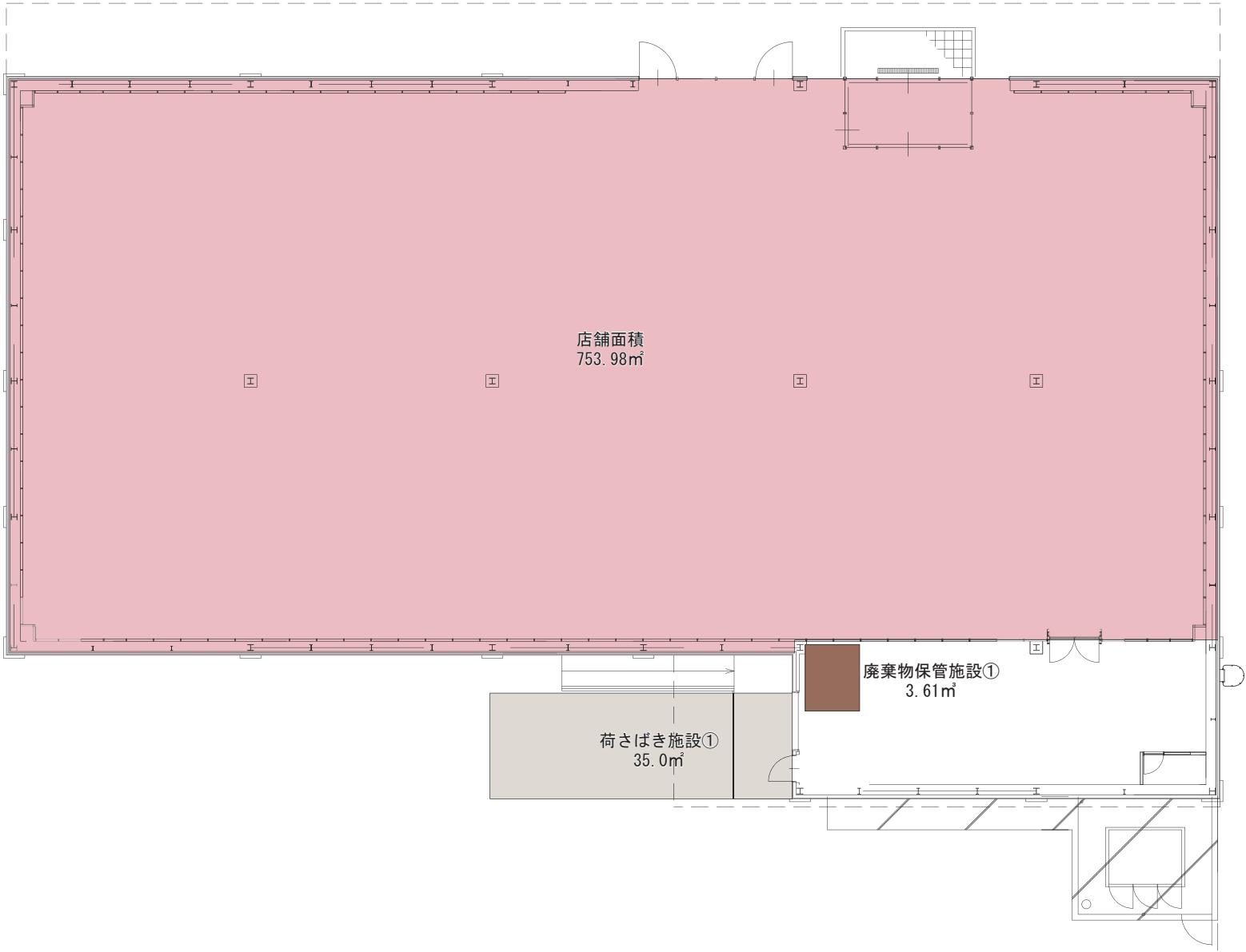
図面 5－1 内部配置図（A棟）

SCALE=1：200

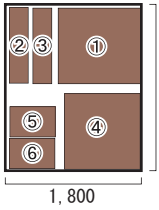


凡 例

- 物販店舗
- 荷さばき施設  
①：10.0×3.5＝35.0㎡
- 廃棄物保管施設② 3.61㎡



【廃棄物保管施設①】



- ①紙製廃棄物  
W1.1 × L1.0 × H1.5 = 1.65 ㎡
- ②金属製廃棄物  
W0.1 × L0.5 × H1.0 = 0.05 ㎡
- ③ガラス製廃棄物  
W0.1 × L0.5 × H1.0 = 0.05㎡
- ④プラスチック製廃棄物  
W1.0 × L1.0 × H1.5 = 1.50 ㎡
- ⑤生ごみ等  
W0.6 × L0.4 × H1.0 = 0.24 ㎡
- ⑥その他可燃性廃棄物  
W0.6 × L0.4 × H0.5 = 0.12 ㎡

SCALE＝1：100

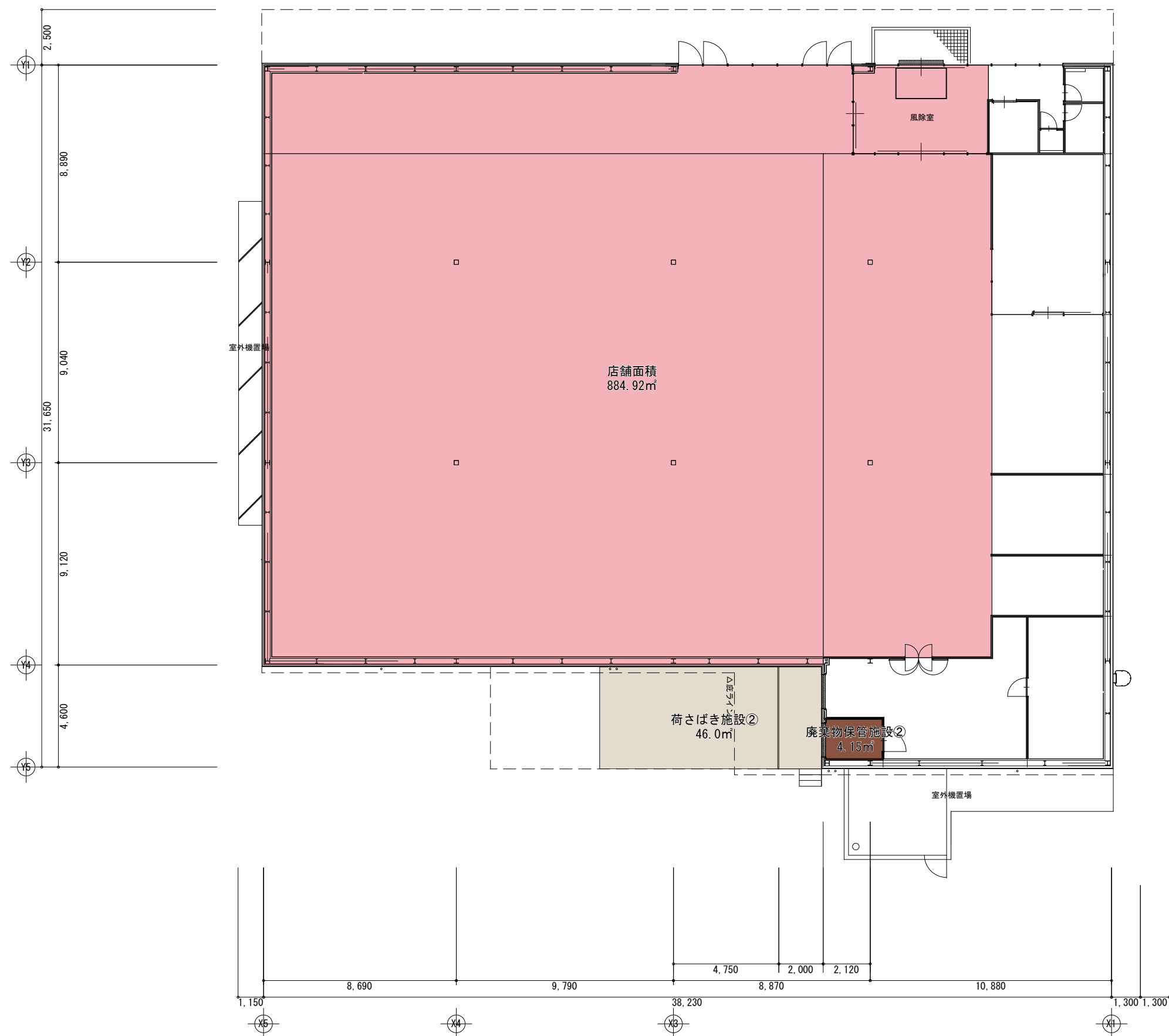
計 3.61㎡

図面 5 - 2 内部配置図 (B棟)

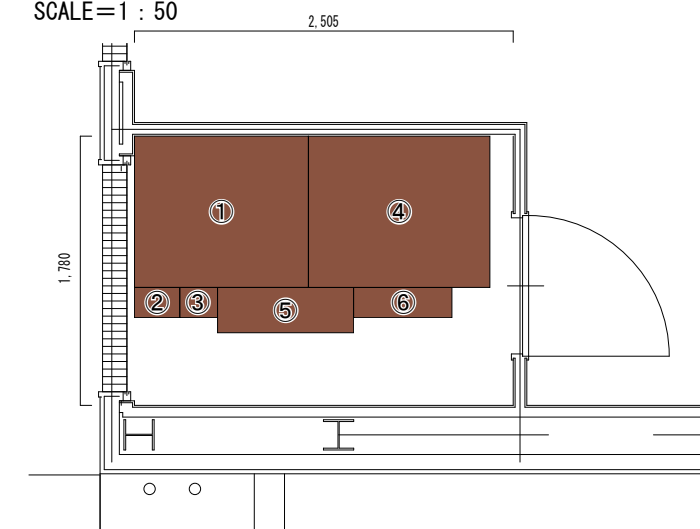
SCALE=1:200



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #f08080; border: 1px solid black;"></span>	物販店舗
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #d2b48c; border: 1px solid black;"></span>	荷さばき施設 ②: 10.0 × 4.6 = 46.0㎡
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #8b4513; border: 1px solid black;"></span>	廃棄物保管施設② 4.15㎡



【廃棄物保管施設②】  
SCALE=1:50



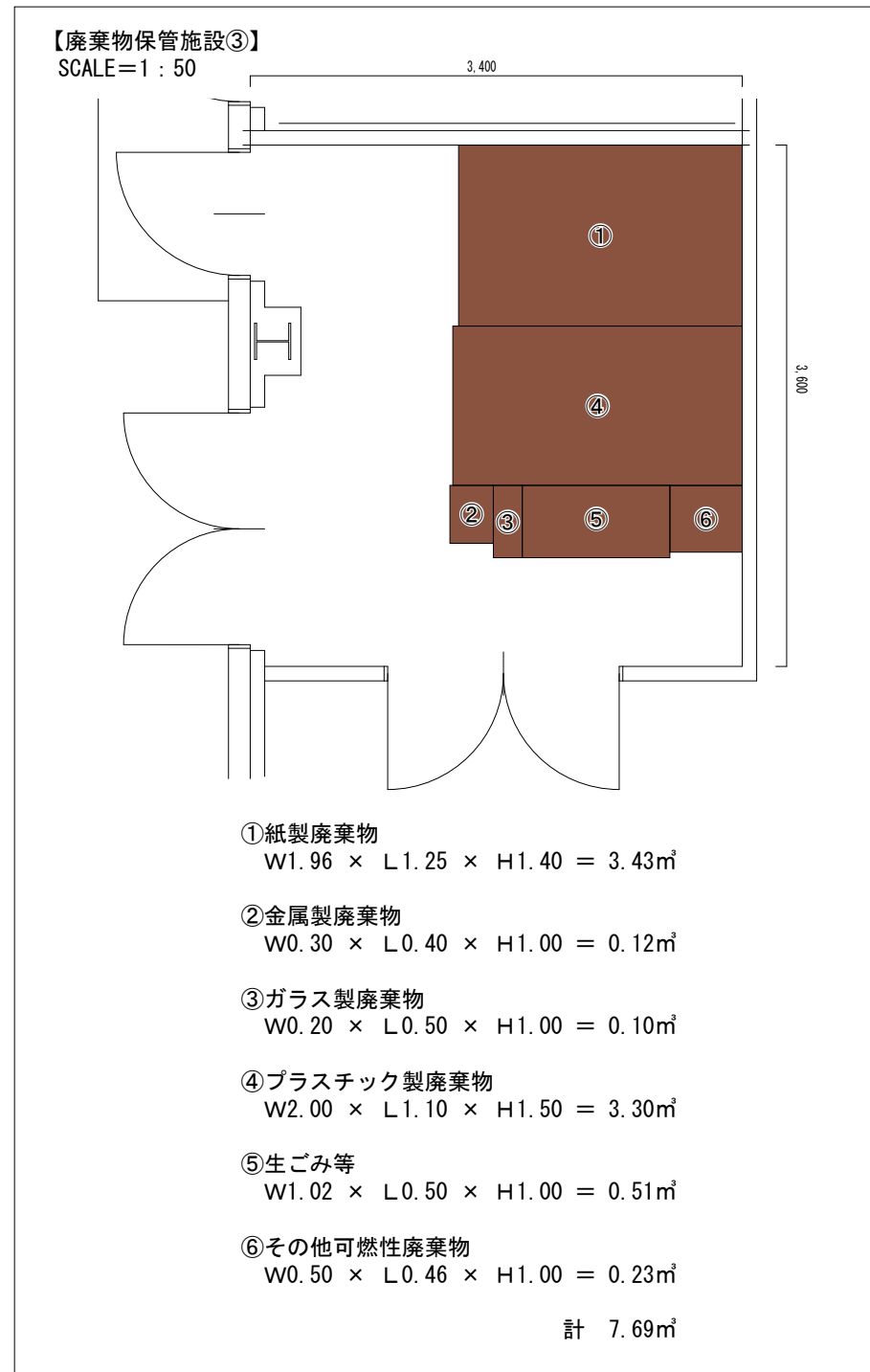
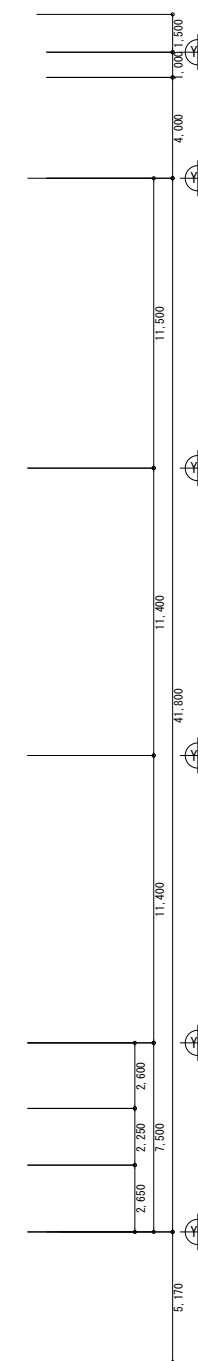
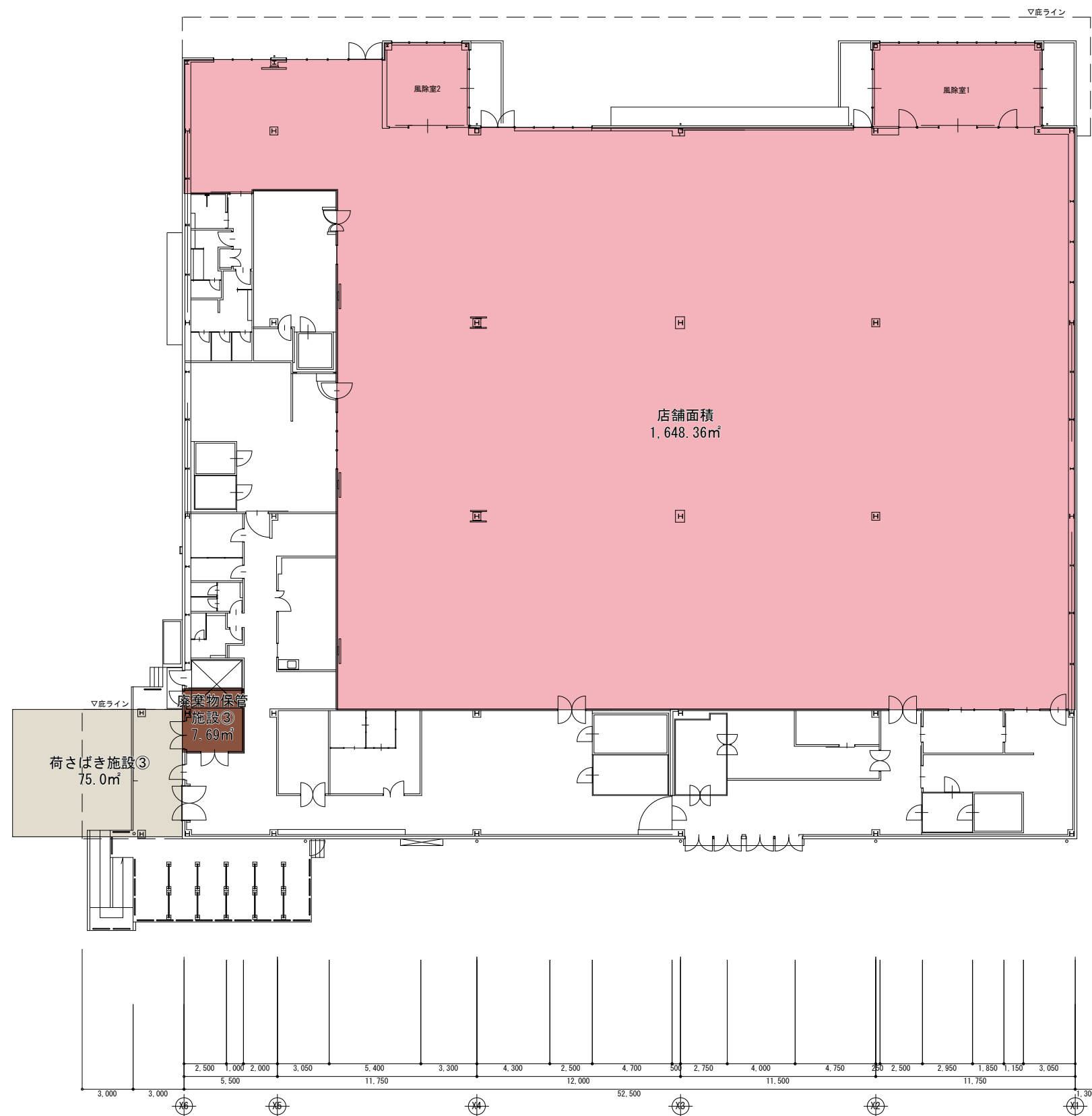
- ①紙製廃棄物  
 $W1.15 \times L1.00 \times H1.60 = 1.84\text{m}^3$
  - ②金属製廃棄物  
 $W0.30 \times L0.20 \times H1.00 = 0.06\text{m}^3$
  - ③ガラス製廃棄物  
 $W0.25 \times L0.20 \times H1.00 = 0.05\text{m}^3$
  - ④プラスチック製廃棄物  
 $W1.20 \times L1.00 \times H1.50 = 1.80\text{m}^3$
  - ⑤生ごみ等  
 $W0.90 \times L0.30 \times H1.00 = 0.27\text{m}^3$
  - ⑥その他可燃性廃棄物  
 $W0.20 \times L0.65 \times H1.00 = 0.13\text{m}^3$
- 計 4.15㎡

図面 5－3 内部配置図（C棟）

SCALE=1：300



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #f08080; border: 1px solid black;"></span>	物販店舗
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #d2b48c; border: 1px solid black;"></span>	荷さばき施設 ③：10.0×7.5＝75.0㎡
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #8b4513; border: 1px solid black;"></span>	廃棄物保管施設③ 7.69㎡





図面 5－4 内部配置図（D棟）

SCALE=1：200



凡 例	
	物販店舗
	廃棄物保管施設④ 4.554㎡

